



小屋敷 京子さん
Koyashiki Kyoko

〔糸田区〕

こやしき きょうこ / 読み聞かせボランティア。町生涯学習センター図書室で、毎月第2木曜日午前11時から開催する「おはなしの会」で活動。

絵本の読み聞かせで育てる子どもたちの心と親子の絆

「読み聞かせの会が、子どもの心と言葉をはぐくむための親子で語り合う時間づくりのきっかけになれば」と顔がほころぶのは、読み聞かせボランティアとして活動する小屋敷京子さん（糸田区）。

町生涯学習センター図書室で開催する「おはなしの会」は、幼児から小学校低学年を対象として4月から毎月第2木曜日に読み聞かせのほか、手遊びや人形を使った触れ合いを通して、子どもたちの豊

かな心を育てる活動に取り組む。

保育士としての経験を生かして、保育園や支援学校などでも読み聞かせボランティアをする小屋敷さん。「はつきりとした見やすい絵本が読み聞かせにはおすすめです。特に、身近にある食べ物などの絵本は子どもたちも喜んでくれます」とアドバイス。「読むだけでなく、わらべ

うたや人形を使って読み聞かせをすると子どもたちも飽きずに絵本に集中できます。読み手も一緒に楽しむことができます」と小屋敷さん。「回数を重ねることに子どもたちの聞き手が上手になるので、興味を持って聞いてくれるんだと感じ、とてもうれしいです。たくさんの絵本に出会うことができたのも、読み聞かせのおかげです」と読み聞かせの魅力を語る。

第1回の4月14日（木）は、「春」をテーマに絵本に合った手遊びや指人形を使った読み聞かせを行う。特殊な布を巻いたパネルボードの上に、綿フランクと呼ばれる特殊な不織布で作った絵人形を歌などに合わせて貼ったり、はがしたり、動かしたりしながらお話する手作りのパネルシアターにも挑戦する。

小屋敷さんは、「家庭でも絵本を通じて、子どもの心の成長と親子の絆（ぎずな）を深めてほしいです。絵本選びなどの相談も受け付けますので、ぜひ親子でお越しください」と希望を膨らませる。

広報 こうさ

2016年（平成28年）4月号
通巻561号